

第3期紫波町まち・ひと・しごと総合戦略（素案）に係る意見公募の結果

Ⅰ 意見公募の実施状況

- (1) 募集期間 令和7年1月9日（木）～令和7年1月30日（木）
 (2) 意見提出 2件

2 計画反映等の区分

区分	内容
A	質問・意見の内容を一部又は全部反映し、計画案を修正したもの
B	意見と計画案の趣旨が同一で、修正を要しないもの
C	施策の実施において参考とするもの
D	国・県の方針等により対応が困難と思われるもの
E	その他のもの

3 反映等の件数

区分	A	B	C	D	E	計
件数	1	0	2	0	0	3

※ダブルカウントあり

4 意見及び町の考え方

No.	関連箇所	提出意見等の概要	回答	区分
1	素案P. 47	【意見】 ①基本目標2「女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる」の基本施策2～4多様な主体との連携・交流促進について、「企業等との連携・交流」及び「大学等との連携による地域活性化」での取組・事業がそれぞれ1件しかないのは少ないのではないだろうか。これら2件とも森林整備に関係する取組・事業であるが、森林整備を行うことで女性や若者に対してどのように町の魅力が発信され新しい人の流れが生まれるのか理解できない。 ②加えて、大学等との連携ならば國學院大學だけでなく紫波町内の若者が多く通学する岩手県内の大学や短大等との連携を積極的に進めるべきではないだろうか。町内の若者が県内の大学等に進学しても、地元との繋がりが希薄だったり「この地域で働きたい」という魅力を感じる事が無ければ、就職で県外に流出してしまう。	①各基本施策における取組・事業については、基本施策に沿った取組・事業のうち主だったものを抜粋して掲載していますが、いただいたご意見を踏まえ、以下の項目について追加いたします。 ○企業等との連携・交流 →「(仮)町内企業等との連携・交流」の項目を追加 ○大学等との連携による地域活性化 →「(仮)県内大学等との官学連携」の項目を追加 なお、森林整備については、町内外の企業又は大学に所属する女性・若者が事業を通して町に対する親しみや愛着を持ち、それが町の魅力発信や町のファン（応援者）を増やすことにつながるかと考えております。 ②県内の大学等とは、これまで地域課題解決に向けた協働研究をはじめ、様々な分野や取組について連携を行ってきました。今後も國學院大學のみならず、県内の大学等との連携も深め、町内の若者をはじめとした多くの人が「この地域で働きたい」「この地域に住み続けたい」と思えるまちづくりに引き続き取り組んでいきます。 ※県内の大学等との連携については、上記①のとおり項目を追加いたします。	A, C
2	素案P. 48、56	【意見】 ①県外から約20年間、岩手と紫波を見つめ、40代半ばから20数年、地球の色々な海外の国々から、日本、岩手、紫波を見つめた時、岩手や紫波のすばらしいところがたくさん浮き彫りになり、又、もう少し明確な目標を掲げ、意欲的に挑戦し、人的交流の中からもっと成長できる施策をつくり、やがて世の中をリード出来るほどの各界、各属のリーダーシップセミナーを学習塾並みに、実務も兼ね社交的な紳士淑女を育てるプロジェクトがあってもいいのではないか。 ②日本にも海外にも○○並木というホットスポットが沢山ある。北海道大学のポプラ並木、明治神宮や東大駒場のイチョウ並木、黄金色に輝く秋の風景はとても印象深い。ある韓国ドラマで一世を風靡した韓国春川の杉並木のロマンチックなこと。どれだけのカップルがあの地を訪れたことか…。岩手県の200キロの高速道路の片側交互に（山々の景色が美しいところは反対側）に植えることにして、10キロずつ、21本の木を植える、岩手山サービスエリアのナナカマドの紅葉は美しく味わい深い。日光の旧街道の杉の大木は2～300年だろうか。苗木は何本必要だろう。全世界の希望者から記念樹として植えてもらい、すてきなプレート（何代も続けてもらえるような素敵なデザインに）結婚記念、誕生記念など、人類の各大陸に応募し、来県した際は大歓迎セレモニーをする。（中略）イヤホンで4か国～5か国語対応で、岩手の21世紀は地球対相手の純情ロマンチック街道で名乗りを上げたい。岩手の美しいくみ餅と餅つき、りんごやりんごパイ等オンパレード、考えるだけで嬉しく楽しい。小・中学校も世界の5か国語くらいには対応し、未来人材として育てたい。我が紫波町で、世界に向けて、並木ロマンチック街道で純情文化の美しく清く誇り高い実体を皆さんにお披露目し、いもの子汁で乾杯し、岩手の肝っ玉母さんのふるさとの味の手作りの品々で純情父母の愛で世界中の一人一人を包んであげたい!!春川が映画のメッカのように一時なったように、岩手の美しい風景をバックに純情文化発祥のメッカにしたい。ハリウッドを超えたい。 ※上記のほかにも長文で様々なご意見・ご提言をいただきましたが、紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関連すると思われる箇所を抜粋して掲載しております。	①町では「国際交流中学生海外派遣事業」をはじめ、様々な取組・事業を通じて、子どもたちがグローバルな視点や感覚を身につけるとともに、多様な人と繋がることの素晴らしさを実感してもらう機会をつくっています。（基本施策3-3「未来社会を切り拓く資質・能力の育成」） いただいたご意見については、今後の施策の推進にあたっての参考とさせていただきます。 ②地域におけるインバウンドの推進は、経済への波及効果の観点からも、地方創生において重要な視点であると捉えています。また、インバウンドに限らず、新しい人の流れを生むためには、地域資源の活用が重要であると認識しています。 いただいたご意見については、今後の施策の推進にあたっての参考とさせていただきます。	C